公立大学法人 長野大学

2026年度訪問講義
模 擬 講 義 一　覧

2026年4月設置予定　新学部（構想中）

共創情報科学部（仮称）※設置構想中であるため、変更となる場合があります。

【知能コース】

タイトル	担当教員	詳細
情報技術の現状と将来動向	飯田 一朗	インターネットとそのうえで動く対話型のAIが身近な存在となりつつあり、実世界と情報世界の融合は日々進んでいます。講義では、ソサエティ5.0と呼ばれるこのような社会を支えている各種技術の動向と将来展望について分かりやすくお話します。
AIが最適な手法を見つけるまで	関 暁之	講義では、人間が思いもつかなかった手法をAIが見つけるまでの過程を原子力プラントを題材に紹介します。
言語表現された意思決定の最適化や数値化	三石 貴志	講義では，人間の言語によるあいまいさを定量化するファジィ理論やそれを使った意思決定や制御について，および最大の利益をもたらす生産計画の定式化やその解法などを高校の数学知識で十分理解できるよう紹介・解説します。
AI・データ・半導体が支えるものづくりと生活	矢島 正男	AIやデータ活用が進む中、ものづくりの現場も大きく変化しています。品質管理・センシング技術・半導体技術の歴史と進化を交え、AI・データ・半導体が私たちの生活にどう関わるのかを説明します。
AI時代をどう生きるか？	吉田 善一	人工知能（AI）の進歩は、さらなる便利さをもたらす反面、人間を支配する可能性もあるといわれています。このような時代だからこそ、マスコミに流されず、立ち止まって、疑い・考えること、一緒に哲学してみませんか。
論語から社会人力を考える		経済産業省が示した「社会人基礎力」の１２項目。加えて「良心を養う力」として、考える力、徳力、包容力、立志力、謙虚さ、の５項目。ここでは、『論語』の教えを中心に１７項目を身につける方法を学びます。
数理モデルと高校数学	渡辺 毅	自然現象等を記述する数理モデルには高校数学の範囲で理解可能なものが沢山あります。講義では一緒に手を動かして計算して理解します。自分で計算して答えを得ることによって腹の底から納得することを目指します。
アプリ自作で学ぶ情報技術		アプリは合成関数と看做すことができ、様々に分解組立できます。講義ではアプリ＝合成関数を作ったり壊したりすることで、情報技術を普段とは少し違う角度から観察してみましょう。

【デザインコース】

--- 準備中 ---

【環境コース】

タイトル	担当教員	詳細
持続可能な森林利用と私たちの未来	藤田 智郁	森林は生物多様性を支え，人の暮らしとも深く関わっています。森林の利用と保全のバランスをどう取るべきか，持続可能な未来に向けた森林との関わり方を考えます。
数字で見る環境負荷		環境に良い，悪いは，何を基準に，何と比較して決まるのでしょうか？データや数値を使って，身近な環境問題を客観的に捉える方法を学びます。
データでみる里山	満尾 世志人	里山は人と自然が重なり合って作られる環境であり、その様子は私たちの社会の変化にともなって刻々と変化しています。本講義では魚の視点から里山の様子や私たちとの関わりについて概観していきます。